

秋田県沖合域の水温状況 (令和5年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月6～7日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層 「はなはだ低い」～「やや高い」水温です。
- 50 m層 「はなはだ低い」～「やや高い」水温です。
- 100m層 「はなはだ低い」～「かなり高い」水温です。
- 200m層 「かなり低い」～「かなり高い」水温です。
- 300m層 「やや低い」～「はなはだ高い」水温です。

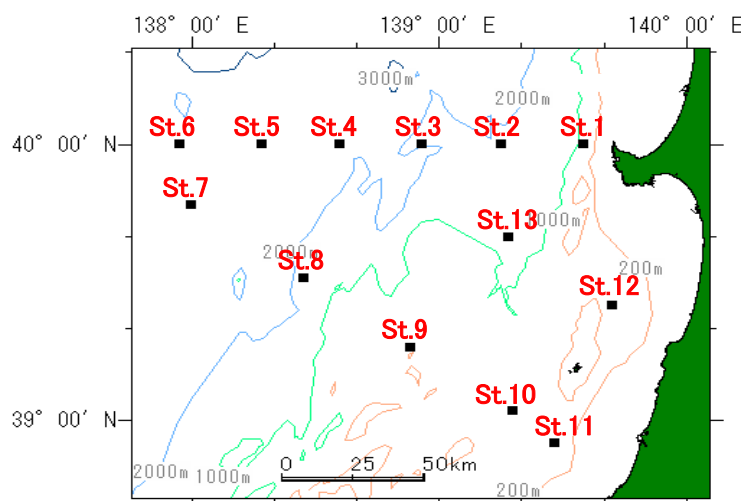


図1 調査定点

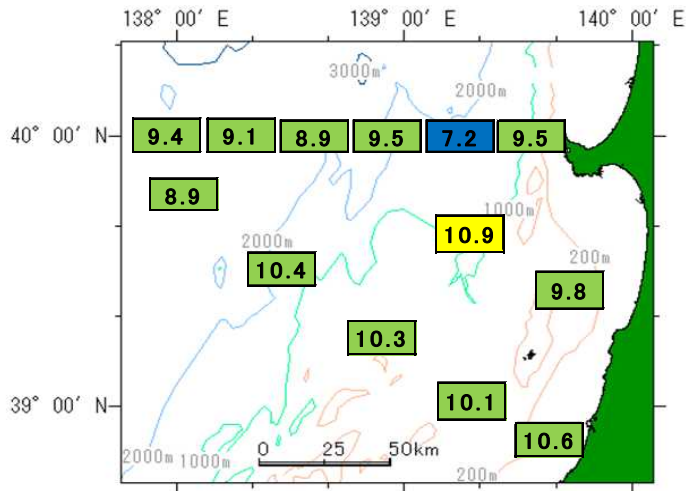
表1 水温の評価区分

評価	偏差 ^{※1}	出現確率
はなはだ高い	+200 ≤	約20年以上に1回
かなり高い	+200 ~ +130	約10年に1回
やや高い	+130 ~ +60	約4年に1回
平年並み	+60 ~ -60	約2年に1回
やや低い	-60 ~ -130	約4年に1回
かなり低い	-130 ~ -200	約10年に1回
はなはだ低い	-200 >	約20年以上に1回

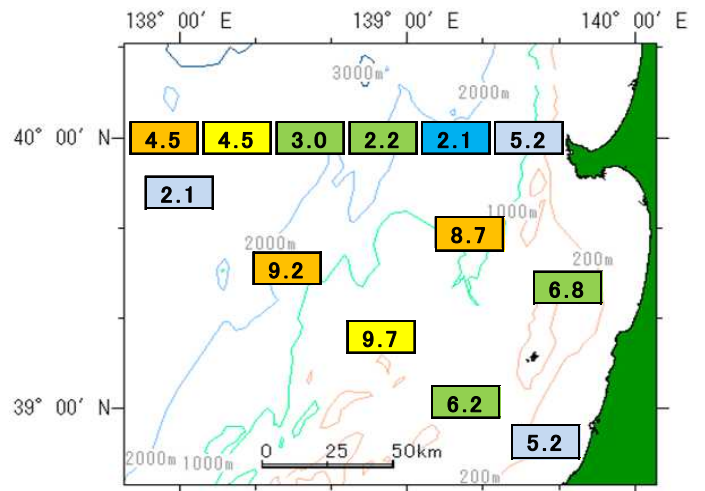
※1 偏差 = (観測値 - 平年値^{※2}) / 平年標準偏差 × 100

※2 平年値: 1986～2015年の30年間の平均値

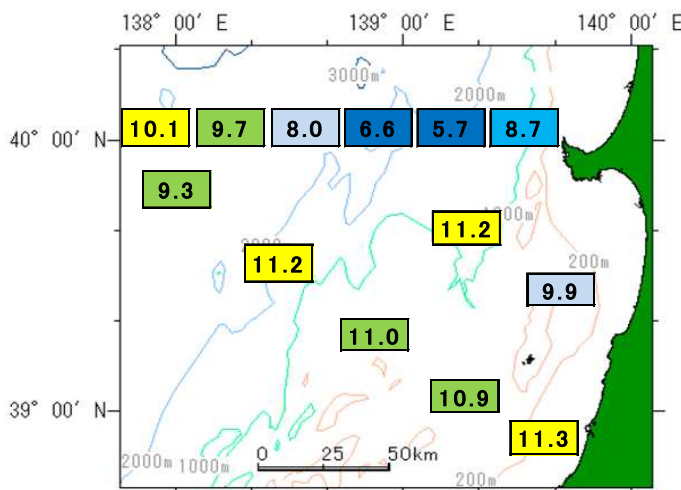
<表層>



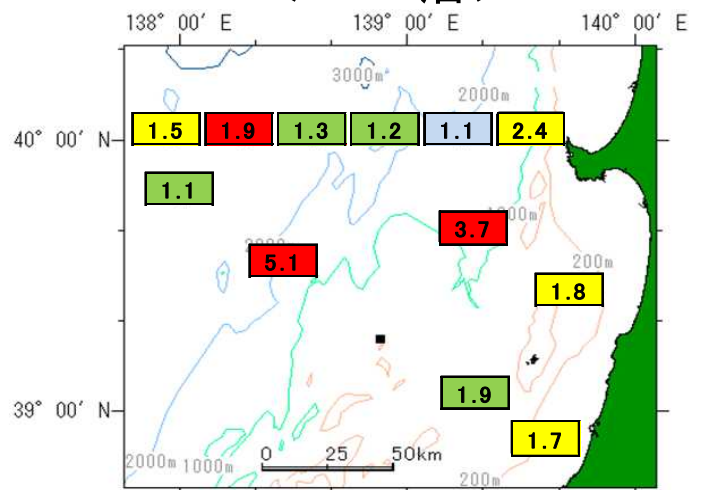
<200m層>



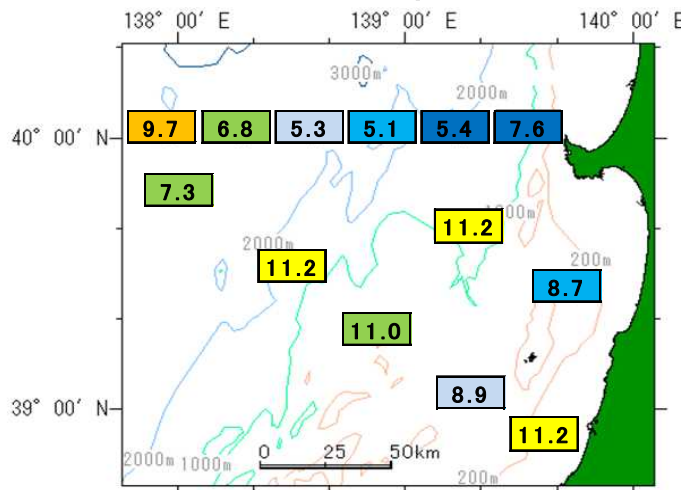
<50m層>



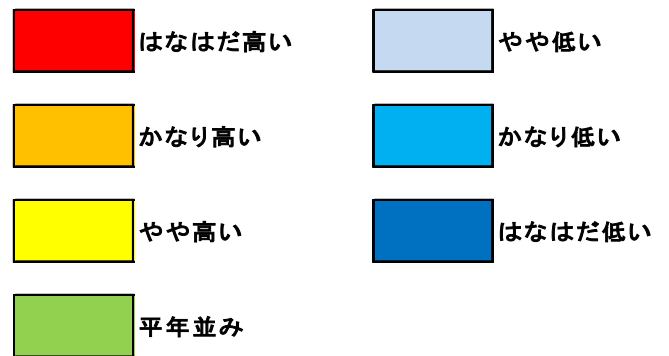
<300m層>



<100m層>



(凡例)



<図2 各層の水溫観測値(°C)と評価>